

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

施設名	岡山県南部健康づくりセンター
------------	----------------

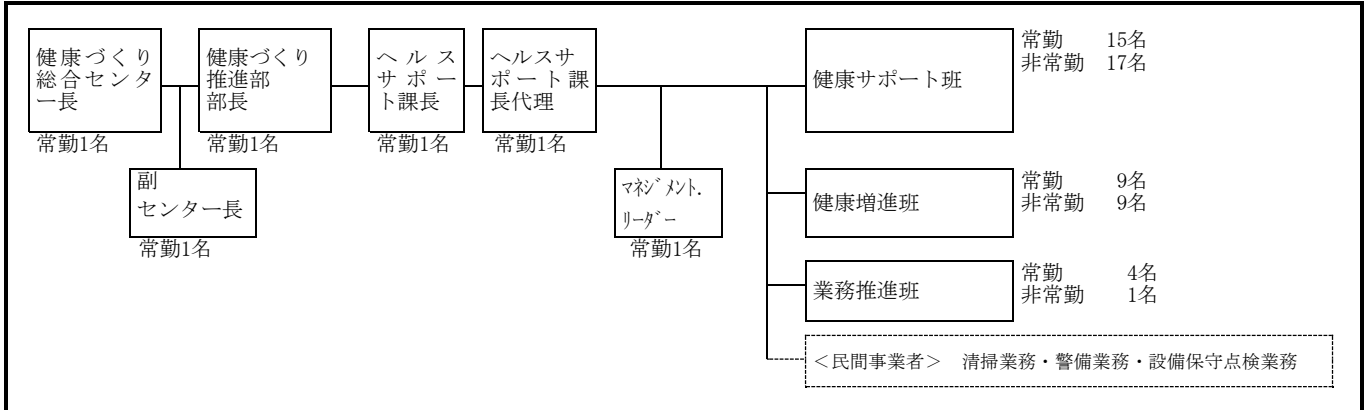
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人 岡山県健康づくり財団	代表者	理事長 松山 正春
所在地	岡山県岡山市北区平田408-1		

【指定管理の概要】

指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県健康づくりセンター条例第2条に規定する業務の実施に関する事。 ・センターの施設及び設備の利用等の許可に関する事。 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する事。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
許可件数	4年度	601	9,182	205	1,428	11,330	22,746
	3年度	535	8,094	1,808	919	11,081	22,437
	増減	66	1,088	△1,603	509	249	309

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設の維持管理業務	・建物保守管理業務 ・設備保守管理業務 ・施設清掃業務 ・植栽管理業務 ・警備業務
施設等利用許可業務	・許可件数：22,746件 [内訳] ヘルスチェック (601件) 施設自由利用 (9,182件) 施設貸出 (205件) その他健康増進活動 (1,428件) 人間ドック (10,069件) 婦人科検診等 (86件) 機器開放 (1,175件)
自主企画事業	・年中児から小学6年生を対象として定期的にかげっこ教室を112回開催。 ・難病相談・支援センターの患者交流会に管理栄養士、運動指導員を派遣して講演を4回実施。

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
収入額		618,950	54,103,370	2,879,170	3,933,995	310,161,378	371,696,863
利用件数		601	78,016	205	1,428	11,330	91,580
減免額		2,389,140	2,706,940	1,624,460	0	4,546,710	11,267,250
減免理由	障害者利用等						

指定管理者からの令和4年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		4年度	対前年度増減額	3年度	備 考
収入額 A		483,912,077	4,976,759	478,935,318	4年度収入額 その他の主なもの ・厚生労働省大規模実証研究費 645,000円 ・積立金取崩収入 3,904,560円 4年度支出額 その他の主なもの ・税金 43,628,988円
内 訳	指定管理料	107,498,895	3,029,695	104,469,200	
	利用料金収入	371,696,863	7,715,175	363,981,688	
	事業収入	166,759	△375,111	541,870	
	その他	4,549,560	△5,393,000	9,942,560	
支出額 B		483,912,077	4,976,759	478,935,318	
内 訳	人件費	222,523,211	△1,752,784	224,275,995	
	管理運営費	97,061,896	2,747,849	94,314,047	
	事業費	85,905,841	6,105,094	79,800,747	
	その他	78,421,129	△2,123,400	80,544,529	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		107,498,895	3,029,695	104,469,200	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 適切な施設管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B 法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B 危機管理についての研修を行うなど、利用者の安全性を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な管理	B 適切な財産管理が行われていた。
導入効果	①利用状況	B 健康増進施設の利用件数は前年度より大幅に増加した。 【利用件数】 R4：91,580件 ← R3：69,663件
	②収支状況	B 収入は、事業収入等が減少したものの、指定管理料と利用料金収入の増加により、前年度より増加した。支出は、人件費等が減少したものの、管理運営費・事業費の増加により、前年度より増加した。収支額は、前年度同額となった。
	③サービス向上	B 利用者入館時の感染予防対策を行った。また、新型コロナウイルス感染症等により人間ドックを受診できなかった方のため臨時開館を行い、受診者の受け入れを行った。
管理運営業務全般	B	適切に管理運営業務が実施されるとともに、利用状況が向上した。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。